

エア消費量を  
抑えた  
省エネ仕様

# エアアシスト スピルバックノズル

特許 ASPBシリーズ

スピルバックノズルに2流体タイプが新登場！  
ご利用の設備にエアラインを追加することで、各種トラブルの改善が可能です。



**【特長】**

- 2流体ノズルに比べエア消費量を抑えた省エネノズル(リターン式)。
  - 平均粒子径は約80 $\mu\text{m}$ \*1。
  - 噴霧速度が大きいため排ガス流れに負けず、冷却塔中心まで霧が到達する。
- ※1 圧搾空気圧力0.4MPa、液圧力2MPaの場合

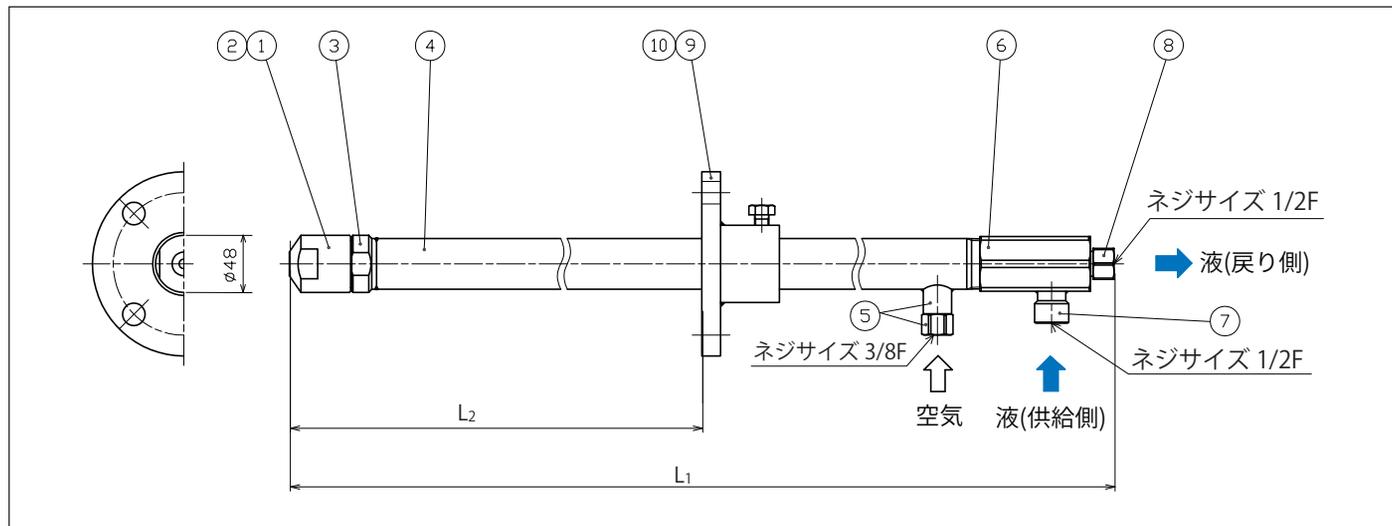
**【効果】**

- スピルバックノズルの冷却能力向上
- 2流体ノズルのエア消費量の低減
- 水粒子の未蒸発によるドレン・塔内や出口付近のダスト付着問題の低減

**【用途】**

- 焼却プラント設備の排ガス冷却など

**【外形図】**



**【各部の名称と材質】**

- ①ノズルチップ A
- ②ノズルチップ B
- ③ノズルアダプター
- ④配管
- ⑤エアソケット
- ⑥ジョイント
- ⑦液ソケット (供給側)
- ⑧液ソケット (戻り側)
- ⑨パッキン
- ⑩フランジ

**【寸法と質量】**

タイプ	ノズル全長L <sub>1</sub> (mm)*1	長さL <sub>2</sub> (mm)	質量(g)*2
A	650	300~ 400	4,800
B	850	400~ 600	6,000
C	1,050	600~ 800	7,200
D	1,250	800~1,000	8,400

※1 ノズル全長L<sub>1</sub>は標準寸法です。  
※2 質量は標準寸法のとときのものです、フランジは含みません。  
※2 ノズル全長が100mm伸びるごとに、600gの質量が増加します。

**【異物通過径】**

品番	異物通過径(mm)	
	液	空気
ASPB20600	2.0	2.5
ASPB20800	2.0	2.5
ASPB201000	2.5	2.5

標準仕様

Pa=0.45MPa	Qa=500N ℓ /min
Ps=2.0MPa	Qw=600 ℓ /hr
PR≒1.3MPa	d32=75 μm(予想)
	dmax=225 μm(予想)

### 【流量線図】

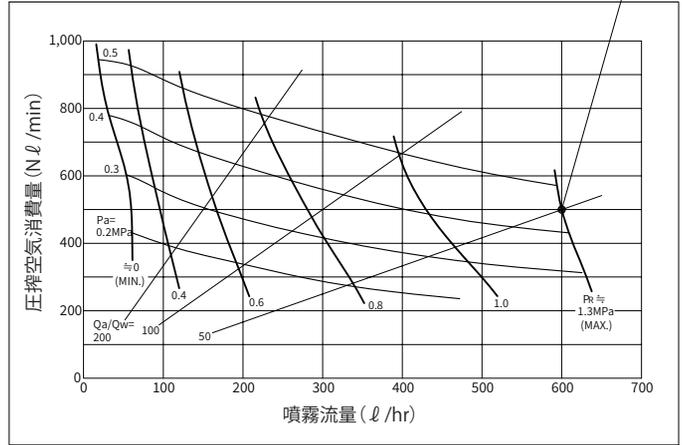
- グラフの読み方
- 噴霧の量(ℓ/hr)は1個のノズルのそれを示します。
  - 太線(—)の足元の数字は液排出圧力PR(MPa)。
  - 細線(—)の頭の数字は圧搾空気圧力Pa(MPa)。

記号の説明

Pa: 圧搾空気圧力	Qa: 圧搾空気消費量
Ps: 液供給圧力	Qw: 噴霧流量
PR: 液排出圧力	d32: ザウター平均粒子径
	dmax: 最大粒子径
	Qa/Qw: 気水比

- 液供給圧力Psは、2.0MPa一定における流量線図を示します。
- 液排出圧力PRは0.4MPa以上での使用を推奨します。
- 0.3MPa以下では排出側に供給された圧搾空気が逆流します。

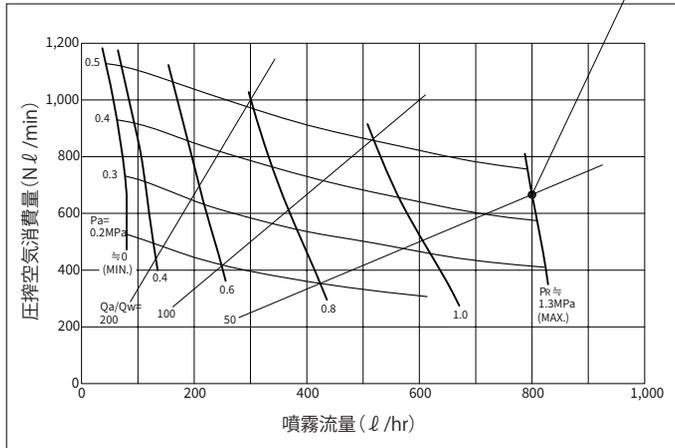
### ■ASPB20600



標準仕様

Pa=0.45MPa	Qa=666N ℓ /min
Ps=2.0MPa	Qw=800 ℓ /hr
PR≒1.3MPa	d32=78 μm(予想)
	dmax=234 μm(予想)

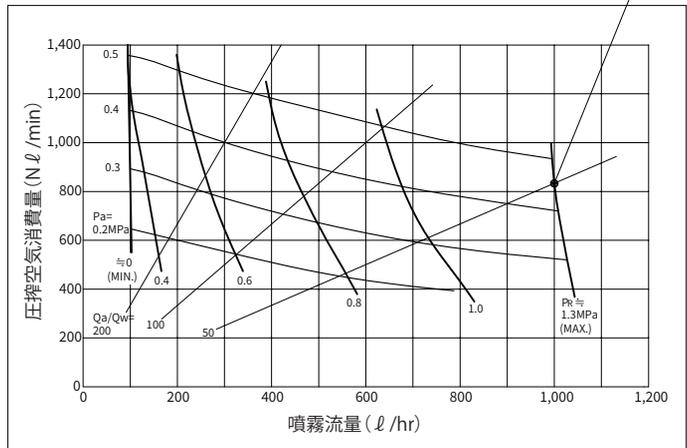
### ■ASPB20800



標準仕様

Pa=0.45MPa	Qa=833N ℓ /min
Ps=2.0MPa	Qw=1,000 ℓ /hr
PR≒1.3MPa	d32=82 μm(予想)
	dmax=246 μm(予想)

### ■ASPB201000



### お引合い要領

ノズル選定にあたっては、噴霧対象との距離、ノズルの設置場所や間隔、液・空気の配管レイアウトなどさまざまな要素を考慮する必要があります。適切なノズル形番選定のため、ご検討段階で弊社営業員までお声がけください。

弊社でのノズル選定などのエンジニアリングが行われていない場合、正しい性能が発揮できませんのでご注意ください。詳しくは商談図をお求めください。

このカタログの記載内容、掲載している製品の仕様・外観などは、品質向上のため予告なく変更する場合があります。

製品に関するお問い合わせ・資料請求・お見積りは下記まで。お気軽にご連絡ください。



フォグエンジニア

霧のいけうち®

お問合せ

TEL: 0120-997-084